



いぶすき 市議会だより



【目次】

- 審議された主なことから P 2～P 3
- 委員会審査報告 P 4～P 6
- 8人の議員が一般質問 P 7～P 11
- 所管事務調査報告 P 12～P 14
- 審議結果 P 15～P 16

第30回指商デパート開催

11月3日、秋晴れの下、指宿商業高等学校において、約5,000人の来場者でにぎわいました。本表紙は、鹿児島市内の老舗店の協力をもらい、うどん・そばを販売している様子です。

令和元年第1回臨時会

(会期) 8月16日(1日間)

審議された主なことから

令和元年度補正予算に関する案件2件を審議しました。審議された主なことからは、次のとおりです。

一般会計補正予算

今回の補正により、一般会計歳入・歳出にそれぞれ5億7287万6千円を追加し、予算の総額は265億5194万8千円になりました。

農林水産施設災害復旧費

○農道22カ所、水路10カ所、林道6カ所の単独災害復旧費等 2327万円

土木施設災害復旧費

○市道22カ所、里道5カ所、河川3カ所、水路1カ所、海岸4カ所の単独災害復旧費等 5119万円

教育施設災害復旧費

○小学校4校、中学校1校、時遊館COCCO橋牟礼、指宿図書館、公民館2カ所等の単独災害復旧費 686万円

その他施設災害復旧費

○小田墓地公苑内の単独災害復旧費 61万円

企画費

○構造試験井掘削坑井評価業務委託料・温泉モニタリング業務委託料・構造試験井掘削等工事費 4億8492万円

小学校費

○川尻小学校図書室およびパソコン室空調機故障に伴う委託料 600万円

令和元年9月定例会

(会期) 9月3日～9月30日(28日間)

審議された主なことから

令和元年度補正予算に関する案件9件、訴えの提起に関する案件4件、条例に関する案件18件、指定管理者に関する案件1件の計32件と陳情1件、意見書(案)1件を審議しました。審議された主なことからは、次のとおりです。

一般会計補正予算

今回の補正により、一般会計歳入・歳出それぞれ1億215万6千円を追加し、予算の総額は266億5410万4千円になりました。

戸籍住民基本台帳費

○印鑑登録証明書への旧氏記載に係るシステム改修に伴う委託料 148万円

水産業費

○県単漁場施設整備事業補助金の内報に伴う山川町漁業協同組合への補助金 144万円

商工費

○かいもん山麓ふれあい公園内の駐車場整備用土地購入に伴う委託料等 430万円

総務管理費

○開閘庁舎建て替えに伴う解体工事設計業務委託料等 1184万円

歳出補正の主なもの

○自治公民館の広報用放送施設設置に伴う補助金 225万円

宿泊減緊急対策事業(宿泊客

誘致のためのプロモーション等を実施する指宿広域観光推進プロジェクト)に係る負担金 1000万円

河川費

○県が実施する長崎鼻海岸整備事業の進捗に伴う負担金

266万円



整備中の長崎鼻海岸

消防費

○開間庁舎建て替えに伴う防災行政無線屋外拡声子局移設等に係る工事請負費

1631万円

○コミュニティ助成事業助成金の決定に伴う町区自主防災組織への補助金

200万円

小学校費

○魚見小学校窓ガラス取り替え等に伴う修繕料

250万円

○山川地域小学校再編に伴う校章デザイン公募に係る報償費およびスクールバスのターミナル設置に係る土地購入費

1378万円



スクールバスターミナル予定地（国道側から）

中学校費

○南指宿中学校武道館照明器具取り替え等に伴う修繕料

520万円



砂むし会館「砂楽」

指定管理者の指定

指宿市天然砂むし温泉施設の指定管理者を指定しました（指定管理者として13年余りの知識と経験を生かし、施設の安定的な管理・運営ができるかと判断）。

○指定管理者

一般財団法人

指宿温泉まちづくり公社

理事長 佐藤 寛氏

○指定の期間

令和2年4月1日～

令和7年3月31日

指宿市立学校設置条例の一部改正について

賛成多数で原案可決

山川地域の子どものため望ましい教育環境を実現するため、4小学校を廃止し、現在の大成小学校に集約して新たな「山川小学校」を設置することに伴う条例改正

意見書案第2号

新たな過疎対策法の制定に関する意見書

全員一致で原案可決

○趣旨

過疎地域自立促進特別措置法が、令和3年3月末をもって失効することになっている。過疎地域に住み続ける住民にとって安心して暮らせるように維持されることは、都市を含めた国民全体の安心・安全な生活に寄与することから、引き続き、充実した新たな過疎対策法の制定を強く要望する。

審議結果については、15～16ページに掲載しております。

総務水道委員会

主な委員会審査報告

令和元年度一般会計

補正予算(第5号)

全員一致で原案可決

定住促進制度

問 定住促進助成金や住宅取得関連の助成は*「Uターン」限定だが、*「Uターン」などに対象者を緩和できないか。

答 当初は「Uターン」、Uターンなどを対象としていたが、見直しを行い、現在は「Uターン」限定となっている。定住促進助成金は、令和2年3月31日までの期間で終了したいと考えている。ただし、お試し滞在サポート事業については、移住の動機づけや移住決定につながっているため、期限を延長したい。

*「Uターン」とは、本市の住民基本台帳に一度も登録されたことのない方が、市外から初めて転入し、新たに登録されること。
「Uターン」とは、本市の住民基本台帳に登録されたことがある方が、一度市外に転出した後、再度転入し、登録されること。

開間庁舎の建て替え

問 これからの計画は、どのようなか。

答 令和2年7月から現庁舎の解体を行い、令和3年4月から新築工事を開始し、令和4年1月から新庁舎での業務開始を予定している。

問 総事業費は、幾らになるか。
答 これから実施設計・基本設計等を行っていく。現時点では、6億2500万円と試算している。

会計年度任用職員

問 市の臨時職員は、何人いるか。

答 フルタイムに相当する臨時職員が9人、短時間勤務の臨時職員が約400人いる。

問 400人の中で、フルタイム勤務の週38時間45分に少しだけ勤務時間が足りない人は、何人いるか。

答 週の勤務が37時間30分の常勤的臨時職員は、現在約170人いる。

問 地方公務員法の改正により、現在の臨時職員は、令和2年度から会計年度任用職員となる予定である。給与や通勤手当等にメリットはあるか。

答 今回の改正により、期末手当の支給が可能になる。賃金についても、最低賃金が引き上げられるため改善される。

問 お試し滞在サポート事業を利用した人数と、そのうち定住した人は、何人いるか。
答 平成30年度はお試し滞在中延べ85人、このうち定住を決め定住準備金を交付したのは、7世帯9人となっている。今年度は、8月末現在で延べ25人がお試し滞在中を利用している。



現在の開間庁舎

文教厚生委員会

主な委員会審査報告

令和元年度一般会計

補正予算(第5号)

起立採決の結果、可否同数となり、委員長裁決で原案否決

戸籍住民基本台帳

問 印鑑登録証明書への旧氏記載に係るシステム改修費については、国の交付金はないのか。

答 住民基本台帳法とは違い、印鑑登録事務については自治事務になっているので、市の負担となる。

環境性能割交付金

問 軽自動車の環境性能割交付金とは何か。

答 消費税増税に伴い、軽自動車取得税が廃止され、新たに創設された交付金である。

山川地域小学校再編に伴うスクールバスのターミナル設置

問 バスターミナル予定地は、国道沿いで安全面を心配している保護者がいるが、慎重に協議する必要があるのではないか。

答 バスターミナルを選定する中で、国道沿いではあるが、学校隣接地であることが決定の要因となった。

指宿市立学校設置条例の一部改正

起立採決の結果、可否同数となり、委員長採決で原案否決

問 山川地域における複式学級で、何が問題でどういう改善をしないといけないという認識なのか。

答 複式学級が悪いというわけではない。ある程度の規模の中で、子どもたち同士を切磋琢磨させながら、いろいろな

教育を受けさせたいとの思いがある。

問 バスターミナルの場所は、大成小学校の校長住宅の横で、用水路がある所か。

答 学校に隣接している敷地ということで、少し段差はあるが、橋を架けて、大成小学校に入ってもらおう。



大成小学校に隣接する用水路

問 子どもたちの安心安全を確保するため、橋を架ける必要のない校舎横の畑を購入する案は出なかったのか。

答 西門側からのバスの出入りという意見は出たが、隣接する土地を購入するかどうかにあつての協議は行っていない。



■ バスターミナル予定地
■ 大成小学校校舎横の畑

陳情第4号

**山川地域における小学校再編の早期実現を求める陳情書
起立採決の結果、賛成多数で採択**

採択すべきという意見

3人のPTA会長の意見を伺う中で、早く学校再編を進めるべきだと考えるので、条例改正について採択すべきである。

不採択とすべきという意見

教育委員会の説明が、参加した保護者に不信感を与えた。住民説明会で、保護者に十分理解を求めながら、慎重に審議すべきという立場で不採択にすべきである。

産業建設委員会

主な委員会審査報告

令和元年度一般会計

補正予算(第5号)

全員一致で原案可決

ふるさと応援基金組み換え

問 財政課から商工水産課への組み換えの理由は何か。

答 ふるさと納税の運用を行う上で、予算は10億円になっているが、状況によって変化がある。基金への積立金はかなり流動するため、所管が分かれるよりは、商工水産課にあった方が円滑に行えるということ、年度途中ではあるが、組み替えをするものである。

令和元年度一般会計

補正予算(第6号)

全員一致で原案可決

宿泊減緊急対策事業に係る負担金

大河ドラマ「西郷どん」の放映終了後の反動減や、韓国・香

港の情勢不安に加え、台風の影響などにより、本市のホテル・旅館等の宿泊者数の減少が著しいことから、緊急対策事業として、宿泊客誘致のプロモーション等を実施するための負担金

問 内容はどのようなものか。

答 インターネット、旅行会社への広告料や、チラシなどの作成費用のプロモーション代が500万円、宿泊割引、またはクーポン券発行等に500万円の合計1千万円の負担金である。

愉徒里館条例等の一部改正

全員一致で原案可決

消費税が10%になることにより、砂むし温泉やヘルシーランド、かいもん山麓ふれあい公園、レジャーセンターかいもん等の各利用料等を改正する条例

指宿市景観条例の制定

全員一致で原案可決

本市の特性が生かされた良好な景観を将来に引き継ぐために、市民、事業者、各種団体、行政等の協働による指宿らしい魅力ある景観の実現を図ることを目的とする条例

問 この条例は、観光都市指宿にそぐわない構造物に制限をかけるものか。

答 景観計画にはステップがあり、策定した段階では、指宿市全域に、いろいろな制限をかけるという状況になる。

ある程度の高さとか、太陽光発電であれば1千m以上といった制限はあるが、届け出をする段階で、景観に配慮した造りをしていただけないかなどの、お願いをすることになる。



かいもん山麓ふれあい公園のパターゴルフ場

問 利用者への周知は、どのようにするのか。

答 消費税の改正については、政府等から国民全体に周知されていることから、特に市としての周知期間は設けていな



人気の市営砂むし温泉

市政の

《一般質問》



ここが聞きたい



指宿市 議会中継

検索

9月定例会では、8人の議員が市政の各方面にわたって質問を行いました。

掲載内容は、主な項目についての質問と答弁の要旨であり、質問者の文責によるものです。

なお、一般質問などの詳しい内容は、次の方法でご覧いただけます。

①会議録の閲覧

市議会事務局、山川・開聞庁舎、図書館および市ホームページ

②会議の録画中継視聴

市ホームページ

※議員顔写真下のQRコードを、スマートフォン等のQRコードリーダーで読み取ることで、一般質問の録画中継がご覧いただけます。

農業問題について



吉村 重則
議員



動画視聴

問

農業次世代事業受給者は、終了している方も含めて、何人の方が受給し、農業を続けている方は何人いるのか。

答

平成24年度から累計で交付対象者は99人になる見込みで、交付終了者は60人、期間中に離農等で交付中止になった方が8人、交付終了後の離農者が9人おり、この中で収入不安定のために5人が離農し、43人の方が就農している。

問

農業に取り組む若い青年を定着させるための支援は、どのような内容か。

答

経済的な支援に限らず、経営面・技術面・土地の確保に関する支援など、総合的な支援を行っている。

学校再編の問題について

問

山川地域の学校再編の住民説明会で、元保護者から荒廃状況や不登校者についての質問に答弁しなかったことが、通わせたくないと思われているがどのように思うか。

答

個人情報部分があたりして、説明ができなかった。また、再編とはなかなかマッチしない議題であると思っている。

問

学校再編は、子どもの教育環境を整えていく、学びやすい環境をつくっていくのが原点ではないか。

答

学校再編は、子どもたちの教育環境を充実するために行うものである。

その他の質問事項

○障害者問題について



新宮領 實 議員



動画視聴

防災について

問 指宿市の防災について、どう考えているか。

答 自助・共助の精神の下、実際に動ける自主防災組織づくりと題したマニュアルを作成し、各地域で説明を行ってきた。指宿地域では87地区のうち74地区、開聞・山川地域では全区で結成され、避難・消火・炊き出し等の訓練を行っている。今後もし引き続き、組織活性化に取り組む。

問 防災マップに対する重要性をどう認識しているか。マップ作りの支援はどうか。

答 各地域の危険箇所、避難路の確認などが掲載されており、非常に重要なものと考えている。マップ作りの支援は、職員が出向いて助言等を行う。

問 地震・津波・大雨・台風・竜巻・火山災害への対策マニュアルはできているか。

答 災害の種別に応じて、風水害・地震・津波等の自然災害や大規模事故等に係る一般災害対策編や火災・火山災害にかかる火山対策編、南海トラフ地震防災対策推進計画編を策定している。

過疎対策について

問 休日保育に対し、財政支援はないか。

答 実施に係る経費として、国が2分の1、県と市がそれぞれ4分の1となっている。

問 エミューの放牧、ジビエ等への活用について、市で取り組む考えはないか。

答 長期的な事業としては未知数な部分が多いため、現在のところ、市として取り組む考えはないが、民間の方でその放牧等をしたというような相談があれば、関係機関と協議し調査・研究をする。



恒吉 太吾 議員



動画視聴

中・長期的な視点に立った観光振興策について

問 砂むし温泉の利用者より、冬期に風が強くて浴衣がはだけるといった意見がある。はだける心配もなく、着衣方法も簡単な作務衣などの導入ができないか。

答 魅力度向上対策事業として、作務衣とインナー付き浴衣を着用しての入浴モニターリングを行っている。インナー付き浴衣の方が、寒さをしのげ、歩きやすく着脱もスムーズであるという意見が多かったため、導入に向け準備を進めている。

問 これから冬期になるが、導入は間に合うのか。

答 導入に向けて、インナーの生地などの選定を進めている。令和2年度中には導入できると考えている。

児童・生徒の通学路の安全確保について

問 市道などでは、区画線が消えかけているところが多く見られる。安心して歩行するために、線の塗り替えや引き直しが早急に行えないか。

答 区画線の塗り替えは、早急に対策が図られるようにしたいと考えている。

問 横断歩道のカラー舗装は、ドライバーの視覚効果を高め、交差点の存在を事前に認識させ、速度抑制効果も期待できるが、導入できないか。

答 安全のために万全を尽くすべきである。カラー舗装を行う方向で、関係機関に働きかけていく。



カラー舗装された横断歩道（霧島市）



前原 五男
議員



動画視聴

市内の働き手不足の現状について

問 外国籍の住民登録者数は何人か。また、市民との交流はどのようになっているか。

答 平成30年度末では、中国45人、台湾34人、フィリピン91人、ベトナム137人である。取り組みについては、指宿市国際交流推進実行委員会によるベトナム交流会を実施、また、中国春節フェスティバルや、山川地域では、ベトナム料理を作り交流を図っている。

問 職種別の従事者数は、どうなっているか。

答 鹿児島労働局の統計では、農業78人、鯉節製造業等148人、宿泊施設等15人、福祉等3人となっている。

問 外国人受入協議会の新設は考えていないか。

答 雇用不足が常態化している現状において、銀行と相互協力および連携に関する協定を締結して、6月には外国人の雇用に関するセミナーを開催し、100人近い参加を得た。今後も、外国人研修管理団体と関係機関のネットワークを組織し、受入態勢の整備を図る。

問 共同生活には、相手に通じる道具としての言語が必要であるので、そのための日本語学校を造る考えはないのか。

答 農業や観光業界も人手不足で厳しい状況であるので検討していく。



西森 三義
議員



動画視聴

農業振興策について

問 オクラ水について、市民から話を聞くが、オクラの効能は把握されていないか。

答 食後血糖値の上昇抑制、体重の増加抑制、便通改善、高血圧の発症を予防する可能性等が確認されている。

問 健康にいいといわれるオクラ等を多くの市民が食べているのに、1人当たりの医療費が高いのはなぜか。

答 入院に係る保険給付費が増加して、肺がんや白血病に係る医療費の増加が要因と考えている。

問 ドローンでの農薬散布を、オクラ等に対応できないか。

答 県内の民間事業者と連携して、調査・研究を進めたい。

ふるさと納税について

問 農村公園のトイレ水洗化および市街地やイッシーバスの通行道路にもあるふたのない側溝等は、危険と思われる。ふるさと納税を活用し、整備できないか。

答 農村公園のトイレ整備や側溝改修を含めた道路維持事業は、生活充実都市の実現に関する事業に該当することから、ふるさと応援基金の活用は可能である。



ふたがなく危険な側溝

その他の質問事項

○市営住宅の申し込みについて



高田チヨ子
議員



動画視聴

安心・安全な 生活のために

問 コミュニケーション支援ボードを避難所に設置できないか。

答 避難所を開設した際、不特定多数の方々が避難されることが想定されることから、意思伝達の手段として大変有効と思われるので、受付名簿などの必要なものと合わせて準備し、避難所の運営管理を行いたい。

問 分かりやすいハザードマップを作れないか。

答 来年度以降になるが、新たな情報を加えたものを作成する予定としているので、説明を加え、分かりやすく見やすい、より良い表示になるよう検討したい。

療育生の環境整備 について

問 中学生の通う通級教室はあるか。

答 現在、本市には設置されていない。設置するためには、まず市の教育支援委員会に諮り審議し、設置が必要との答申があれば、県教育委員会に申請することになる。希望する生徒、保護者の方は、まず学校に相談していただきたい。

問 新規の放課後等デイサービス事業所を増やす対策はないか。

答 発達障害の疑いのある子どもたちが、継続して療育支援を受けられるように、指宿市地域自立支援協議会等での協議を行い、皆様方のご意見を伺いながら検討したい。

問 幼・保・小の情報交換会が、どこの学校でも同じように支援が受けられないか。

答 学校によって対応が違ってくるように、連携を密にして指導する。



新川床金春
議員



動画視聴

財政状況について

問 公債費を超えた起債の借入れを繰り返すと、自治体の財政状況は悪化すると言われるが、起債額と公債費の推移はどうなるのか。

答 平成30年度決算の起債額は、約41億7300万円、約6億6300万円の赤字である。なお、財政シミュレーションによる令和10年度の公債費は、約33億円である。

問 平成20年から22年の財政が厳しいときの公債費負担比率は20%を超えていたが、30年度は幾らになるか。

答 平成29年度の県の公債費負担比率の平均は16・3%で、本市は18%である。20%超が1市あった。平成30年度は19・3%となる。

問 平成30年度・31年度の起債残高は幾らになるか。

答 平成30年度の起債残高は272億8012万円、31年度見込みは283億1772万円である。

学校再編について

問 平成29年第3回教育委員会定例会の会議録に、「大規模改修や耐震補強工事を行っても耐用年数は延びないため、いずれは改築を行わなければならない」と記載されているが、大成小学校の耐用年数はいつまでか。

答 令和3年3月で、耐用年数の60年が経過する。

問 山川地域の活性化のため、60年、70年先を見据えた新設の小学校か小中一貫校を建設する考えはないか。

答 将来的には、山川中学校、開聞中学校といった、一体となった義務教育一貫校を目指したい。



前之園正和
議員



動画視聴

「幼児教育・保育の無償化」に関連して

問 10月から始まる幼児教育・保育の無償化の内容は、どのようなものか。

答 幼稚園、保育園等を利用する3歳から5歳の全ての子どもと、住民税非課税世帯の3歳未満児の利用料が無償化される。副食費は保育料から切り離されて保護者負担になる。

問 副食費について、市独自に補助はできないか。

答 他市の動向等も踏まえながら検討していきたい。

地熱発電および関連事業について

問 還元井は設けないとし泉熱の二次利用としてブルーラグーン構想を言っていたが、今は基本的には還元井を設ける

と言っている。それでも構想に変更はないのか。

答 まずは、調査をしてから検討をすることになる。

問 熱源を売って得られる5千万円は、福元区が全部もらえると思っている人もいる。そのことを確認したい。

答 益金については、広く行政運営のために使う。

問 JOGMECから助成を受けるとしても、事業開始から6事業年度以内となっているが、いつまでということになるか。

答 6事業年度であれば、令和2年度までとなる。

問 8月8日と9日の市民説明会は、地域と共生したものにしたいとの根拠にはならないと思うがどうか。

答 理解が進んでいると考えている。

その他の質問事項

○人権としてのLGBT問題について

陳情第4号

山川地域における小学校再編の早期実現を求める陳情書

賛成15・反対4

賛成多数で採択

陳情の要旨

○「指宿市望ましい学校づくり基本方針」の趣旨を十分踏まえ、山川地域における小学校再編の早期実現を図ること。

○市議会においては「将来にわたって山川地域の3小学校が過小規模校でもよし」とするのか、「再編して適正規模の学校とする」のか、賢明なる判断を行うこと。

反対討論

再編の期日が、令和3年4月1日に決められており、地域から学校がなくなることや、子どもたちの教育環境が変化することへの不安から、再編延期や反対の意見があることを市は認めている。子どもの教育環境を整備するためにも、もう少し時間をかけるべきであり、再編の期日は設定すべきでない。

賛成討論

山川の保護者代表、区長、地域代表など幅広い皆さんから心底の思いを届けていただいた。また、文教厚生委員会で5人の参考人が再編への思いを述べられた。適正規模校に再編されるならば、子どもたちも大勢の友達ができ、元気で明るく、そして賢く成長していくと思う。この学校再編については、再編検討委員の皆さんが地域の声を聴きながら議論した10年間のご苦労や覚悟が詰まっている。

我々議員は、地域住民の多数の意見をないがしろにしないためにも、採択すべきである。



所管事務調査の報告

総務水道委員会

10月1日から3日までの3日間、岐阜県恵那市、長野県岡谷市および愛知県半田市の調査を行いました。

移住定住促進事業

恵那市は、想定を上回る人口減少が進み、その抑制を重点課題とし、対策として、「子育て世代の定住促進を促す施策」と「子どもを安心して育てる施策」を集中的に実施している。

平成28年度から移住定住推進事業を開始し、「空き家バンク事業」、「新婚生活はじめよまいか事業」、「一戸建てに住もまいか事業」など、どのような事業が分かりやすい名称になっている。一ターンのように限らず、在住している人も対象としている点が特徴的である。

また平成29年度には、「恵那くらしビジネスサポートセンター」を開設している。これまでは「住まい」と「暮らし」に関する支援が中心であったが、就職や起業など「はたらく」支援を

含め一体的にワンストップで支援している。

○委員所感

地方に住むことに魅力を感じていても、仕事を得ることが難しいという課題が移住定住を妨げている場合もあり、ワンストップでの支援は必要であると感じた。

また本市においても、今住んでいる人たちが他の自治体に流出することがないような定住施策も重要であり、一ターンだけに限定されている現行の制度について見直しを含め考えていかなければならないと感じた。

防災行政の取り組み

岡谷市は、平成18年7月に発生した豪雨災害で、市内各地で土石流などが発生し、8人の尊い命が奪われ、家屋の流出や倒壊など甚大な被害を受けた。その教訓を基に安全で安心して暮らせる「災害に強いまちづくり」を重点施策とし、災害時の情報を的確に伝える防災ラジオの導入や行政チャネルの開設を行っている。

市内21区域に地域連絡員として市職員を任命・派遣し、情報の収集と共有を行うほか、自主防災組織に対する防災資機材購入事業や防災対策強化に努めている。

○委員所感

市として防災対策を行うことはもちろん大切である。それに加え、行政だけでは足りない部

分を自ら守る「自助」、自発的に

助け合う「互助」、自分たちで守り支える「共助」、行政が市民を支援する「公助」の重要性を認識すること、災害の記憶を風化させることなく後世に伝えていくことも大切であると感じた。

またその地域に住む職員を地域連絡員として2人ずつ配置しており、地域と行政をつなぐ重要な役割を果たしているのでも配置について考えていきたい。

視察を行った他の自治体

○半田市（愛知県）

「マイレポはんだ」について



恵那市での視察の様子



岡谷市での視察の様子

所管事務調査の報告

文教厚生委員会

10月7日から9日までの3日間、佐賀県多久市、武雄市および長崎県五島市の調査を行いました。

小中一貫教育の推進

多久市は、少子化に伴い、小中学校の学校行事の規模を縮小し、複式学級を解消するために、平成25年から小中一貫校の導入に取り組んできた。その後、義務教育9年間の教育課程を編成し、基礎期・充実期・発展期とした指導体制に取り組み、中ギャップの解消を図った。コミュニティ・スクールの推進として、学校・家庭・地域が共に力を合わせて、「子どもを育てる」II「地域と共にある学校づくり」に取り組んでいた。

○委員所感

本市においても、学校運営協議会をより一層開かれたものとし、住民参加型のコミュニティ・スクール推進の参考になった。さらに、9年間を通じた最新ICT教育を進めることで、

児童・生徒の学力アップに繋がっていた。全教員にタブレットを配布することで、働き方改革にもつながるので導入を提案したい。



多久市での視察の様子

新たな学校づくりの推進と情報教育の充実

武雄市は、市長主導の下、ICT教育にいち早く取り組み、市内の小中学生1人1台のタブレットを配布し、自宅で予習してくるスマイル学習に取り組んでいた。電子黒板を普通教室全てに配置し、タブレットと連携したネットワークを生かした授

業を実施していた。また、官民一体型学校と言われる「武雄花まる学園」を導入し、民間主体の楽しい教育を実施していた。

○委員所感

時代にあつた教育方針を定め、取り組むことが重要である。新しい時代を担う子どもたち、1人1台のタブレットを自在に利用できる環境を整えることで、教育の新しい形が生まれる可能性がある。本市においても取り入れていただきたい。

ICTを利用した調剤情報共有システム(お薬ネット)

五島市は、調剤情報システムを導入し、高齢者の重複診療や重複処方を防いでいた。全調剤薬局をICTでつなぎ、調剤情報を医療クラウドサーバーで一元管理し、医療機関とデータ共有をすることで、市民の健康管理や服薬指導および見守りシステムへの応用など、二次利用を推進していた。

○委員所感

調剤薬局・医療機関などが連携し、薬の重複処方や飲み合わせによる健康被害を防ぐことができる。調剤情報をデータ管理することで、市民の健康管理や服薬指導および医療費の削減にもつながるので、本市においても関係機関と十分検討していただきたい。



武雄市ICT教育資料

所管事務調査の報告

産業建設委員会

7月30日から8月1日の3日間、佐賀県基山町、佐賀市および長崎県平戸市の調査を行いました。

ダブルジビエ活用プロジェクト

基山町では、耕作放棄地の増加とともにイノシシなどの鳥獣被害が拡大しており、市街地にも出没する状況の中、耕作放棄地の解消や特産品づくりを目的に、エミューの飼育を行っている。飼育されたエミューの肉は、地元の料理店で串カツやたたきとしてメニュー化されたり、ハムやカレー等に加工され、通販等で販売されている。

また、エミューの脂質はさまざまな効果等が確認されており、化粧品等の原材料としての活用を大学等と連携を図りながら推し進めている。



基山町の耕作放棄地でのエミュー飼育

○委員所感

エミューの活用は、耕作放棄地の解消および肉や脂肪の利用による産業化など、話題性があるが、本市においては、牛・ヤギ・ヒツジ・ウサギ・エミューなどと触れ合える観光農園などの方が、活路があるのではと思う。

ふるさと納税

平戸市では、平成26年度に全国1位となるふるさと納税（約14億円）を受けた。制度の導入当初から、民間の販売サイト等に頼らず、ポイント制など市独自の取り組みを行っていた。返礼品を提供する事業者に対しては、ふるさと納税を通して、販路の拡大や顧客ニーズのリサーチ、さらにはテストマーケティングなど、その後の事業展開に役立たせることに重きを置くことを条件としていた。

平成30年度の寄付額は、6億円と落ち込んでいたが、今後もふるさと納税本来の目的を遵守しつつ、平戸市のファンを獲得していくとのことだった。

○委員所感

導入当初から、民間の販売サイト等に頼らず、市独自のシス

テムを構築してきた。カタログも充実しており、内容が良く分かるものになっていた。平成30年度は寄付額が落ち込んでいたものの、ふるさと納税本来の目的を貫きたいという姿勢は、本市においても見習う必要があると感じた。



平戸市での視察の様子

視察を行った他の自治体

○佐賀市（佐賀県）

「街なか再生および都市再生整備計画」

指宿温泉祭に参加

9月28日、さわやかな秋晴れの下、第72回指宿温泉祭が開催され、例年通り指宿市議会としてハシヤ踊りに参加しました。



広報研修会

8月28日に鹿児島県町村議会議長会主催の議会広報研修会に委員6人と事務局職員3人が参加しました。議会広報サポーターの芳野政明氏を迎えて、「議会報の評価の目安・基準」のテーマで、発行目的に沿った企画・編集になっているか、読みやすさ、分かりやすさという観点から、12市町の議会だよりを検証しました。本研修会で学んだことを基に、1人でも多くの皆さんに読んでもらえる紙面づくりに努めてまいります。



令和元年第1回臨時会・第3回定例会で審議された議案等一覧

※全員一致は*、賛否が分かれた案件は賛成○・反対◆、欠席は欠で記載

福永議員は議長職のため、特別多数議決以外の議案については本会議での表決（賛成・反対の意思表示）権はありません。

議案番号	氏名	議決結果																				
		坂元茂教	東勝義	西田義哲	新宮領實	前原五男	山本敏勝	斉藤佳代	恒吉太吾	東伸行	井元伸明	西森三義	吉村重則	前之園正和	松下喜久雄	高橋三樹	高田チヨ子	木原繁昭	下川床泉	新川床金春	福永徳郎	
【第1回臨時会】																						
57	令和元年度指宿市一般会計補正予算（第3号）の専決処分の承認を求めることについて	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	承認
58	令和元年度指宿市一般会計補正予算（第4号）について	○	◆	○	◆	○	○	◆	○	◆	◆	○	◆	◆	○	○	○	○	◆	◆	—	原案可決
【第3回定例会】																						
59	土地の所有権移転登記請求事件に関する訴えの提起について	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	原案可決
60	土地の所有権移転登記請求事件に関する訴えの提起について	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	原案可決
61	土地の所有権移転登記請求事件に関する訴えの提起について	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	原案可決
62	土地の所有権移転登記請求事件に関する訴えの提起について	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	原案可決
63	平成30年度指宿市一般会計・各特別会計歳入歳出決算の認定について、平成30年度指宿市水道事業会計決算の認定及び余剰金処分について	決算特別委員会に付託し、閉会中審査																—				
71	指宿市天然砂むし温泉施設の指定管理者の指定について	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	原案可決
72	指宿市会計年度任用職員の給与、旅費及び費用弁償に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	◆	○	○	○	○	○	—	原案可決
73	指宿市職員の分限に関する手続及び効果に関する条例等の一部改正について	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	原案可決
74	指宿市ふれあいプラザなのはな館条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	◆	○	○	○	○	○	—	原案可決
75	指宿市行政財産の目的外使用の使用料徴収条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	◆	○	○	○	○	○	—	原案可決
76	指宿市公共下水道条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	◆	○	○	○	○	○	—	原案可決

次ページへ続く

議案番号	氏名 件名	坂元	東	西	新	前	山	齊	恒	東	井	西	吉	前	松	高	高	木	下	新	福	議決結果		
		茂教	勝義	義哲	宮領	原五男	本敏勝	藤佳代	吉太吾	伸行	伸明	三義	重則	之園正和	下喜久雄	高橋三樹	高田チヨ子	原繁昭	下川床泉	新川床金春	永徳郎			
77	指宿市水道給水条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	◆	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決	
78	指宿市印鑑条例の一部改正について	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	原案可決
79	指宿市税条例の一部改正について	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	原案可決
80	指宿市老人福祉センター条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	◆	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決	
81	指宿市立学校設置条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	◆	○	○	○	○	○	○	◆	○	原案可決	
82	指宿市立市民会館条例等の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	◆	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決	
83	指宿市体育施設条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	◆	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決	
84	指宿市漁港管理条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	◆	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決	
85	指宿市コミュニティセンター愉徒里館条例等の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	◆	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決	
86	指宿市開聞農村環境改善センター条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	◆	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決	
87	指宿市道路占用料徴収条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	◆	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決	
88	指宿市景観条例の制定について	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	原案可決
89	指宿市都市公園条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	◆	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決	
90	令和元年度指宿市一般会計補正予算（第5号）について	○	◆	○	◆	○	○	○	○	○	○	○	◆	◆	○	○	○	○	○	○	○	◆	—	原案可決
91	令和元年度指宿市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	原案可決
92	令和元年度指宿市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	原案可決
93	令和元年度指宿市介護保険特別会計補正予算（第1号）について	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	原案可決
94	令和元年度指宿市温泉配給事業特別会計補正予算（第1号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	◆	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決	
95	令和元年度指宿市唐船峡そめん流し事業特別会計補正予算（第1号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	◆	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決	
96	令和元年度指宿市水道事業会計補正予算（第2号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	◆	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決	
97	令和元年度指宿市公共下水道事業会計補正予算（第2号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	◆	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決	
98	令和元年度指宿市一般会計補正予算（第6号）について	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	原案可決

【陳情書】

4	山川地域における小学校再編の早期実現を求める陳情書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	◆	○	○	○	○	○	○	◆	—	採 択
---	---------------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	-----

【意見書案】

2	新たな過疎対策法の制定に関する意見書（案）	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	原案可決
---	-----------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	------

*** 傍聴においでください ***

令和元年第4回定例会（12月議会）が下記のとおり予定されています。

招集・議案上程	12月3日(火)
総務水道委員会	12月5日(木)
文教厚生委員会	12月6日(金)
産業建設委員会	12月9日(月)
一般質問	12月18日(水)・19日(木)・20日(金)
委員長報告・表決	12月25日(水)

※各会議は、指宿庁舎3階にて午前10時から開催されます。（本会議は議場、委員会は議員控室）
日程等は変更されることがありますので、傍聴の際にはあらかじめ市議会事務局までお問い合わせください。
TEL 0993 (22) 2111（内線511・512）

広報特別委員長 木原 繁昭

今議会の大きな議題の一つは、山川地域4小学校の統合の件であったと思います。地域住民より、早期実現を求める陳情書も出されました。議員の意見も賛否両論ありました。この議会だよりの中に、委員会や一般質問など、いろいろな視点で各所に取り上げられています。ご一読いただければ幸いです。

編集後記